

現場名称	直江町の家 梅田様邸新築工事	監理項目「発泡ウレタン吹付」
作成者	川本	



[工事遠景]

本日は断熱材「発泡ウレタン」の吹付が行われましたので
 施工状況の確認と厚みのチェックを行いました。
 写真にも写っております小屋裏点検口の部分は吹き付けてしまうと
 点検時フタが重く開けられなくなってしまうので、ここだけは
 別の断熱材「硬質ウレタンフォーム」を重ね貼りして点検時に開
 け閉めがしやすい断熱が後に施工されます。



[厚みチェック]

設計図の仕様では壁の断熱厚みを75mmとしていますので、その厚
 みが確保されているかを確認していきます。
 写真のように「75」と明示されたピンが刺さっており、これを最
 後まで刺すことができれば75mm厚みがあることとなります。



[厚みチェック]

とはいえ、入隅の部分など施工が難しい箇所もありますので細部
 はスケールを当てて確認します。
 柱の厚みは105mmなので75mmの断熱施工後30mmの奥行が残れば良
 いということになります。
 ほとんどの箇所が105mm分パンパンに断熱されておりますが
 怪しい箇所を隈なく探して必要な箇所はその場で増して頂きます
 写真の箇所は30mm以下となりますので問題ない箇所です。



[補修]

細かい入隅の部分は大きな機械では吹付が難しいので、小さな器
 具で補修していきます。
 指摘させて頂いた箇所もその場で増して頂きました。